

高揚程 インバータ台数制御給水ユニット

ポンパー® KF

KF2-H形

バックアップ機能付

2~6台ロータリー

ステンレス

Max.170m

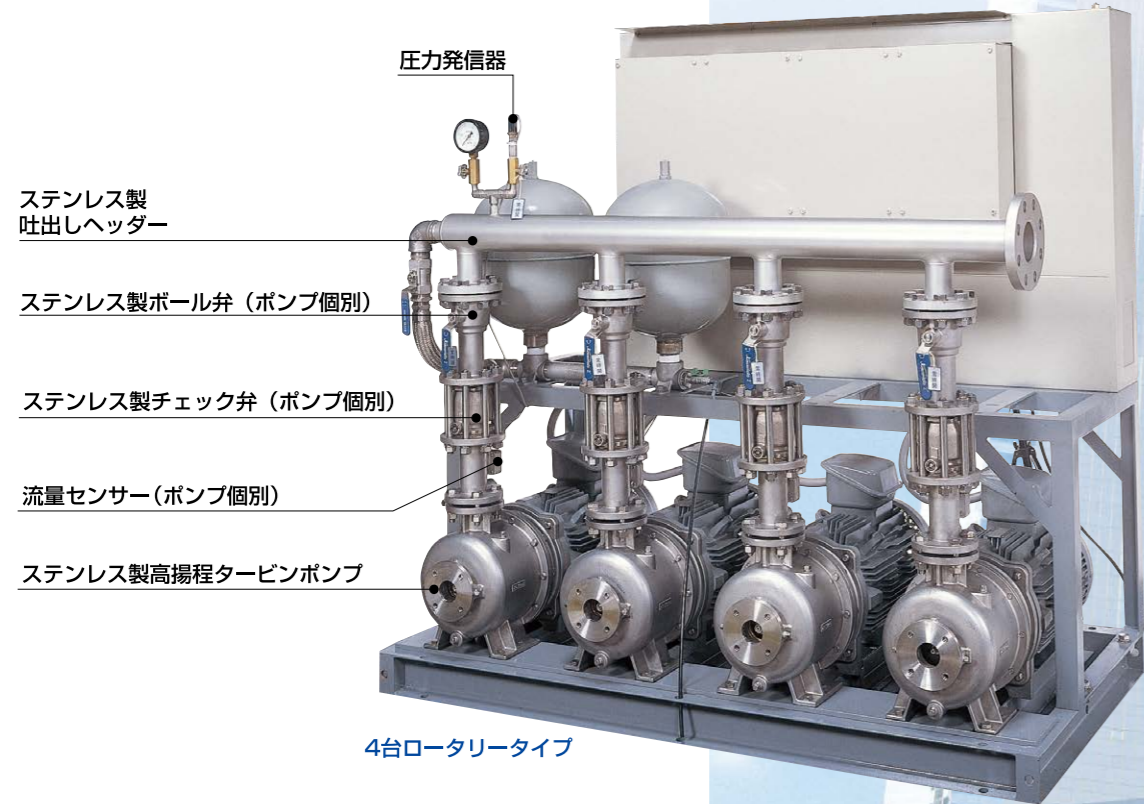
Ver.1.2



KF2-HR形

省エネ・静音・清潔・推定末端圧一定の 高品質給水ユニット「ポンパーKF」に

高揚程機種をシリーズ化!



ステンレス製
吐出しヘッダー

ステンレス製ボール弁 (ポンプ個別)

ステンレス製チェック弁 (ポンプ個別)

流量センサー (ポンプ個別)

ステンレス製高揚程タービンポンプ

圧力発信器

4台ロータリータイプ

ポンパー® Pumper KF 高揚程タイプ

■標準仕様

制御方式	周波数制御による推定末端圧一定(吐出し圧一定も可能)
運転方式	2~6台ロータリー運転
設置場所	屋内(周囲温度0~40°C・湿度90RH%以下・標高1,000m以下)
揚場	清水・0~40°C
ポンプ(材料)	ステンレス多段タービンポンプ (インペラ: CAC901、主軸: 接液部SUS304、ケーシング: SCS13)
モーター	全閉外扇屋内形 極数: 2極
効率	プレミアム効率 (IE3)
吸込条件	流込み0~5m(※1) 又は吸上げ(吸込全揚程-4m(※2)以内)
電源	三相200V
フランジ形状	吸込側 JIS10K並形 ユニット吐出し側JIS20K [7.5kWは吸込側JIS10Kうす形(相フランジ付) 吐出し側JIS10K並形]
塗装部色彩 (マンセルNo.)	制御盤: ベージュ(5Y7/1)、アキュムレータ: グレー(10Y5.5/0.5) その他: グレー(2.5PB5.1/0.8)

(※1) 押込揚程が5mを超える場合はお問合せください。(※2) 7.5kW品は吸込全揚程-6m以内、吸込実揚程は-4m以内。

注) 少水量で長時間連続してお使いになる場合には別途ご相談ください。

■特殊仕様

- BL認定品
- 400V仕様
- 減台運転なし
- 自家発信号入力端子付 (R2タイプを除く)
- 吐出し位置変更 (11、15kW)
- スルース弁付 (11、15kW)
- 緊急停止回路付
- 湯水b接点入力
- 湯水b接点出力

■特別付属品(オプション)

- ヒータ
- 防振架台
- 電極棒
- フート弁(吸上げ用の場合)
- 基礎ボルト



全閉モーター

2台ロータリータイプ

高揚程
Max.170m

ポンパーKFシリーズで実績のあるステンレス製精密鑄造の多段タービンポンプの高出力機種を開発し、高層ビルへの給水が可能です。

コンパクトサイズ
約40%の省スペース
(従来比最大)

制御盤、吐出しヘッダー、ボール弁、チェック弁を組んだコンパクトな一体ユニットで据付施工の省力化とコスト低減が図れます。従来品(KRF形)に比べ最大約40%の省スペース化・軽量化を達成。

省エネロータリー制御
Max.6台運転

最大6台運転までの台数制御ロータリー運転で細かい省エネ運転が可能です。

安心の
バックアップ機能

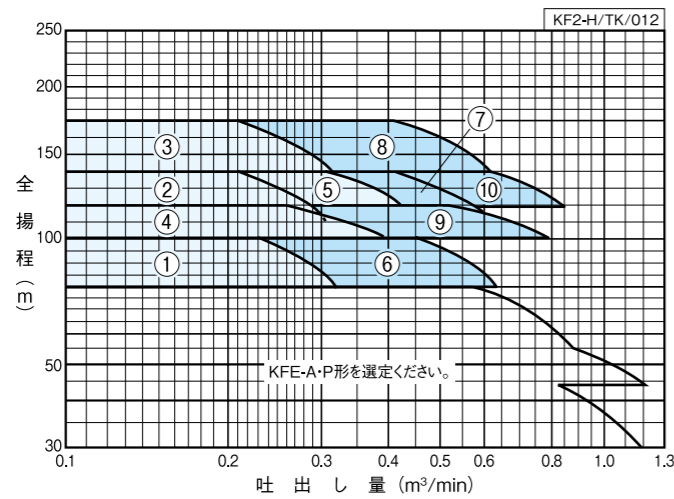
ポンプ故障・インバータ故障のほか圧力発信器故障、制御基板故障時もバックアップ機能により断水を極力回避します。(※R2タイプを除く)
又、ポンプ内部水温上昇時にポンプを停止させる温度センサーをポンプ個別に装備しています。

高力率・高調波対策

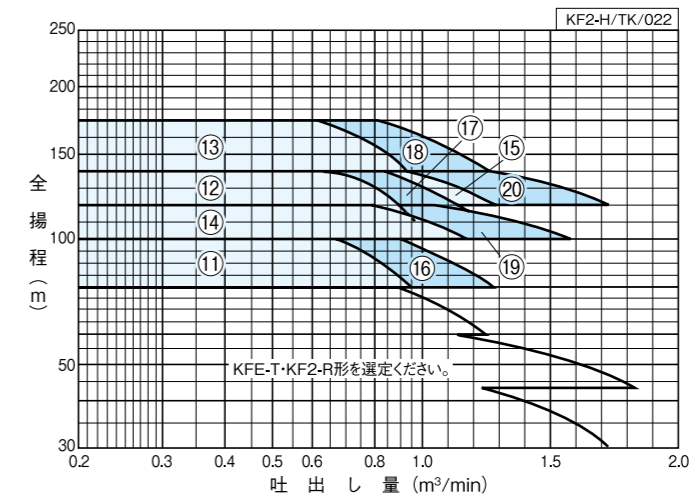
ポンプ毎にDCリアクトルを標準装備した高力率機器で電気基本料金が割引きになるほか、高調波の発生も抑制しています。

清潔ステンレス

ポンプケーシング、吐出しヘッダー、バルブ類にはステンレスを採用し、耐久性が高く清潔です。



・仕様はチェック弁等のユニット内損失を引いたもので表示してあります。



・仕様はチェック弁等のユニット内損失を引いたもので表示してあります。

■仕様表 少水量停止流量：0.01m³/min

KF2-H/ZSI/016

口径 吸込×吐出し mm	運転方式	符号	形式	出力 kW	標準仕様			設定揚程 調整範囲 m	アキュムレータ 封入圧力 MPa	騒音値 ※ dB(A)	防振架台 適用表
					吐出し量 m³/min	全揚程 m	始動圧力 MPa				
40×50	1/2 台ロータリー	1	KF2-40HR2E7.5	7.5	0.22	100	0.84	80~100	0.73	61~63	PX-145Z ₂ QGP-111 ₂ JPJR-312
		2	KF2-40HR2E11	11	0.21	140	1.20	110~140	0.94	70~73	
		3	KF2-40HR2E15	15	0.21	170	1.46	140~170	1.15	70~71	
50×65	1/2 台ロータリー	4	KF2-50HR2E11	11	0.26	120	1.02	100~120	0.80	69~72	PBKV-MBT04 又はPJR-309
		5	KF2-50HR2E15	15	0.30	140	1.20	120~140	0.94	71~74	
40×80	2/3 台ロータリー	6	KF2-40HR3E7.5	7.5×2	0.44	100	0.84	80~100	0.73	62~65	QGP-107
		7	KF2-40HR3E11	11×2	0.42	140	1.20	110~140	0.94	73~76	
		8	KF2-40HR3E15	15×2	0.42	170	1.46	140~170	1.15	73~74	
50×100	2/3 台ロータリー	9	KF2-50HR3E11	11×2	0.52	120	1.02	100~120	0.80	72~75	PBKV-MBT05 又はPJR-305
		10	KF2-50HR3E15	15×2	0.60	140	1.20	120~140	0.94	74~77	

③フラッシュバルブ等瞬時に大水量をご使用の場合は、別途ご相談ください。
※騒音値は、吐出し量0から標準仕様点までの値です。(参考値)

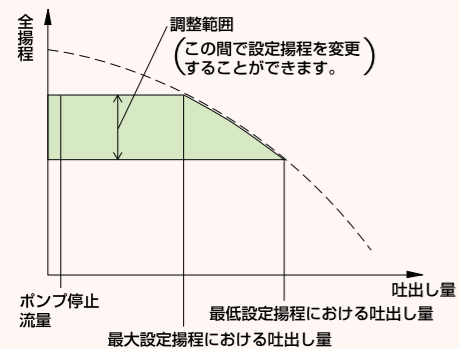
■仕様表 少水量停止流量：0.01m³/min

KF2-H/ZSI/026

口径 吸込×吐出し mm	運転方式	符号	形式	出力 kW	標準仕様			設定揚程 調整範囲 m	アキュムレータ 封入圧力 MPa	騒音値 ※ dB(A)	防振架台 適用表
					吐出し量 m³/min	全揚程 m	始動圧力 MPa				
40×80	3/4 台ロータリー	11	KF2-40HR4E7.5	7.5×3	0.67	100	0.84	80~100	0.73	66~71	QGP-93
		12	KF2-40HR4E11	11×3	0.63	140	1.20	110~140	0.94	75~78	
		13	KF2-40HR4E15	15×3	0.63	170	1.46	140~170	1.15	75~76	
50×100	3/4 台ロータリー	14	KF2-50HR4E11	11×3	0.78	120	1.02	100~120	0.80	74~77	PBKV-MBT06 又はPJR-306
		15	KF2-50HR4E15	15×3	0.90	140	1.20	120~140	0.94	76~79	
40×100	4/5 台ロータリー	16	KF2-40HR5E7.5	7.5×4	0.90	100	0.84	80~100	0.73	66~72	PBKV-MBP94 ₂ JPJR-302
		17	KF2-40HR5E11	11×4	0.84	140	1.20	110~140	0.94	76~79	
		18	KF2-40HR5E15	15×4	0.84	170	1.46	140~170	1.15	76~77	
50×125	4/5 台ロータリー	19	KF2-50HR5E11	11×4	1.04	120	1.02	100~120	0.80	75~78	PBKV-MBT08 又はPJR-307
		20	KF2-50HR5E15	15×4	1.20	140	1.20	120~140	0.94	77~80	

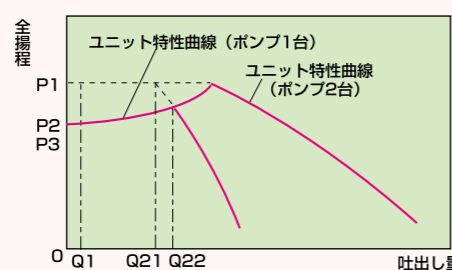
③フラッシュバルブ等瞬時に大水量をご使用の場合は、別途ご相談ください。
※騒音値は、吐出し量0から標準仕様点までの値です。(参考値)

適用図・仕様表の見方



- ①全揚程は、ポンプ性能よりチェック弁(ショックレスバルブ)等の損失を差し引いた値で表わしています。
- ②設定揚程を変更される場合には、設定揚程調整範囲内でご使用ください。始動圧力は、推定末端圧-4mに自動調整されます。
- ③吸込条件は、流込み5m~吸込全揚程-4mの範囲でご使用ください。設定揚程による最大吐出し量は、吸込条件により異なります。

動作説明

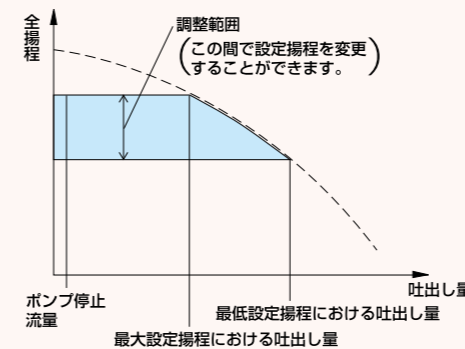


P1：設定揚程
P2：推定末端揚程
P3：始動揚程 (P2-0.04MPa)
Q1：停止流量 (0.01 m³/min)
Q21・Q22：解列・並列流量
※破線は吐出し圧一定運転の場合です。

■交互並列運転

- ①ポンプ停止中に水が使用され、圧力がP3まで下るとポンプは始動します。
- ②使用水量がQ1以上の場合には、ポンプは推定末端圧一定で給水が続けます。
- ③使用水量が減少し、Q1以下になると、ポンプは停止します。
- ④①~③を1号ポンプ、2号ポンプ交互に始動停止を行います。
- ①ポンプ1台運転中に、使用水量がQ22以上に増大すると、圧力検知により2台目のポンプが始動し並列運転となります。
- ②並列運転状態で使用水量がQ21以下に減少すると、圧力検知により先発ポンプが停止し、1台運転となります。
- ③使用水量がQ21未満の場合には、交互運転を行います。

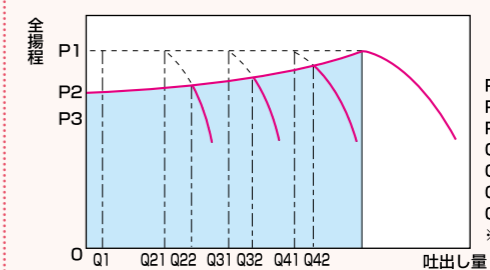
適用図・仕様表の見方



- ①全揚程は、ポンプ性能よりチェック弁(ショックレスバルブ)等の損失を差し引いた値で表わしています。
- ②設定揚程を変更される場合には、設定揚程調整範囲内でご使用ください。始動圧力は、推定末端圧-4mに自動調整されます。
- ③吸込条件は、流込み5m~吸込全揚程-4m(7.5kWは-6m)の範囲でご使用ください。設定揚程による最大吐出し量は、吸込条件により異なります。

動作説明

〈4台ロータリーの例〉

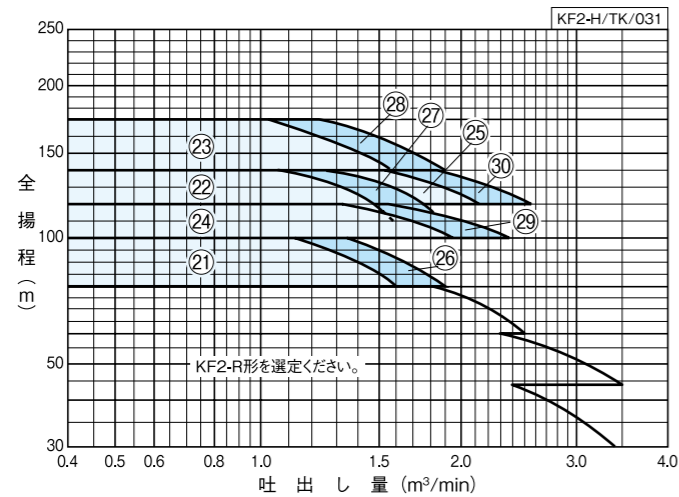


P1：設定揚程
P2：推定末端揚程
P3：始動揚程 (P2-0.04MPa)
Q1：停止流量 (0.01 m³/min)
Q21・Q22：2台目ポンプの増減台流量
Q31・Q32：3台目ポンプの増減台流量
Q41・Q42：4台目ポンプの増減台流量
※破線は吐出し圧一定運転の場合です。

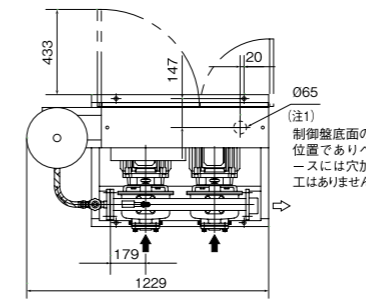
- ①ポンプ停止中に水が使用され、圧力がP3まで下るとポンプは始動します。
- ②使用水量がQ1~Q21の間では推定末端圧一定で給水が続けます。
- ③使用水量がQ1以下になると、ポンプは停止します。
- ④使用水量がQ22未満の場合は、ロータリー運転を繰り返します。
- ⑤1台運転中に、使用水量がQ22以上に増加すると、2台目のポンプが増減され、2台運転となります。さらに使用水量が増加してQ32・Q42となる毎にポンプが増減され、3台~最大4台運転になります。
- ⑥4台運転状態で使用水量がQ41以下になると、圧力検知によりポンプが減減され3台運転になります。さらに使用水量が減少してQ31・Q21以下になる毎にポンプが減減され、2台、1台運転になります。
- ⑦使用水量がQ1以下になると、ポンプは停止します。

2台ロータリー

(7.5kW)



・仕様はチェック弁等のユニット内損失を引いたもので表示されています。

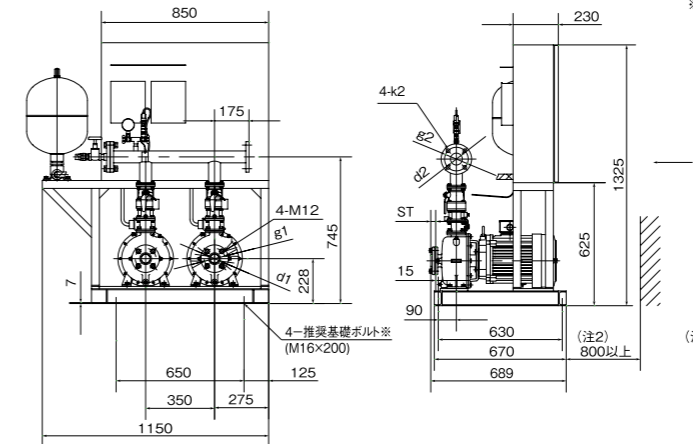


■フランジ寸法

単位：mm

口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ						質量 kg
			d1	g1	d2	g2	k2	ST	
40×50	KF2-40HR2E7.5	7.5	Rc1 1/2	105	50	120	19	25	357

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。



(注2)メンテナンススペースです。電線管等の設置は避けてください。

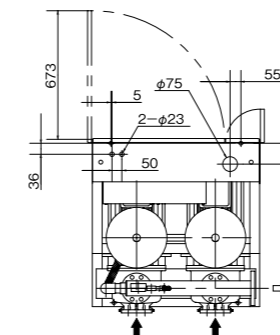
■仕様表 少量水停止流量：0.01m³/min

KF2-H/ZSI/035

口径 吸込×吐出し mm	運転方式	符号	形式	出力 kW	標準仕様			設定揚程 調整範囲 m	アクムレータ 封入圧力 MPa	騒音値 ※ dB (A)	防振架台 適用表
					吐出量 m³/min	全揚程 m	始動圧力 MPa				
40×100	5/6台ロータリー	21	KF2-40HR6E7.5	7.5×5	1.12	100	0.84	80~100	0.73	66~73	PBKV-MBP95 ₂ PJR-304
		22	KF2-40HR6E11	11×5	1.05	140	1.20	110~140	0.94	77~80	
		23	KF2-40HR6E15	15×5	1.05	170	1.46	140~170	1.15	77~78	
50×125	5/6台ロータリー	24	KF2-50HR6E11	11×5	1.30	120	1.02	100~120	0.80	76~79	PBKV-MBT07 又はPJR-308
		25	KF2-50HR6E15	15×5	1.50	140	1.20	120~140	0.94	78~81	
40×100	5/6台ロータリー 特殊仕様	26	KF2-40HR6E7.5	7.5×6	1.35	100	0.84	80~100	0.73	お問合せ ください。	PBKV-MBP95 ₂ PJR-304
		27	KF2-40HR6E11	11×6	1.26	140	1.20	110~140	0.94		
		28	KF2-40HR6E15	15×6	1.26	170	1.46	140~170	1.15		
50×125	5/6台ロータリー 特殊仕様	29	KF2-50HR6E11	11×6	1.56	120	1.02	100~120	0.80	お問合せ ください。	PBKV-MBT07 又はPJR-308
		30	KF2-50HR6E15	15×6	1.80	140	1.20	120~140	0.94		

③フラッシュバルブ等瞬時に大量水をご使用の場合は、別途ご相談ください。
※騒音値は、吐出量0から標準仕様点までの値です。(参考値)

(11・15kW)

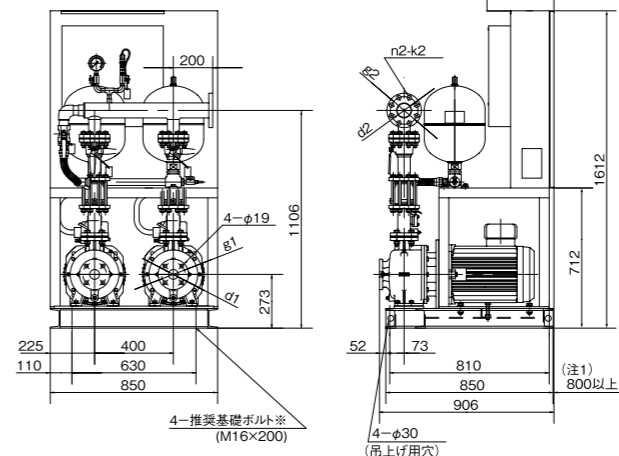


■フランジ寸法

単位：mm

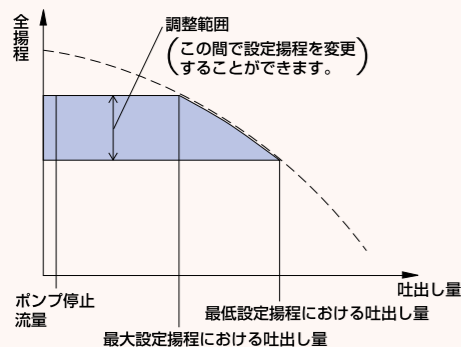
口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ						質量 kg
			d1	g1	d2	g2	n2	k2	
40×50	KF2-40HR2E11	11	40	105	50	120	8	19	590
	KF2-40HR2E15	15	40	105	50	120	8	19	620
50×65	KF2-50HR2E11	11	50	120	65	140	8	19	590
	KF2-50HR2E15	15	50	120	65	140	8	19	620

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。



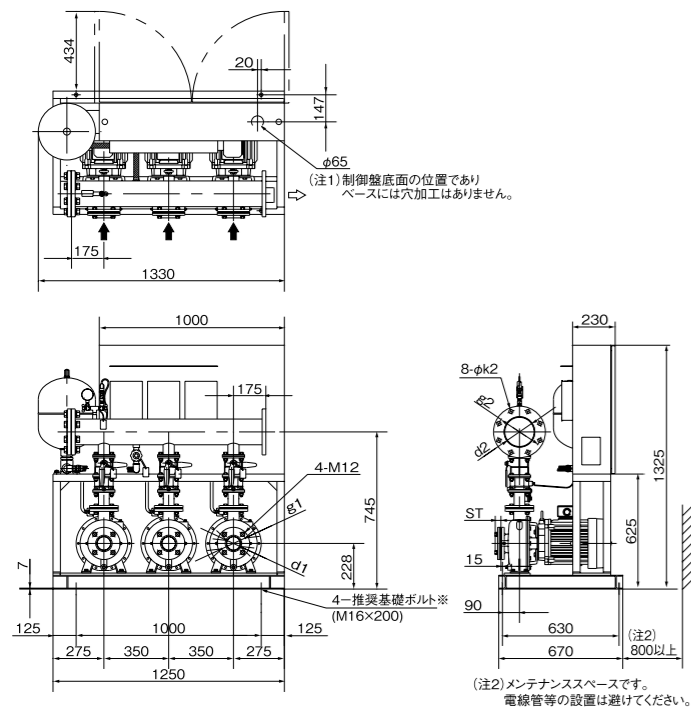
(注1)メンテナンススペースです。電線管等の設置は避けてください。

適用図・仕様表の見方



- ①全揚程は、ポンプ性能よりチェック弁(ショックレスバルブ)等の損失を差し引いた値で表わしています。
- ②設定揚程を変更される場合には、設定揚程調整範囲内でご使用ください。始動圧力は、推定末端圧-4mに自動調整されます。
- ③吸込条件は、流入み5m~吸込全揚程-4m(7.5kWは-6m)の範囲でご使用ください。設定揚程による最大吐出量は、吸込条件により異なります。

3台ロータリー (7.5kW)

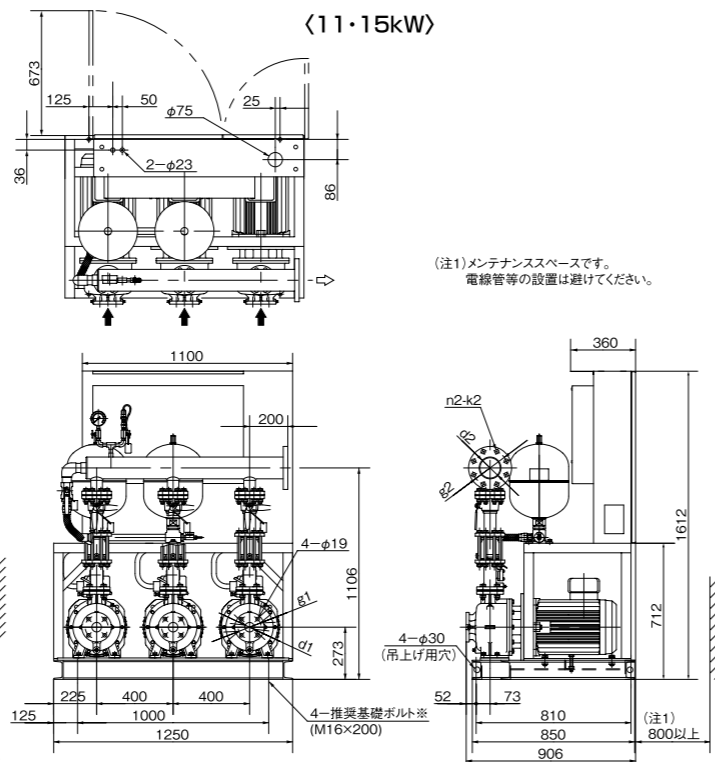


■フランジ寸法 単位：mm

口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ							質量 kg
			d1	g1	d2	g2	k2	ST		
40×80	KF2-40HR3E7.5	7.5×2	Rc1 1/2	105	80	150	19	25	492	

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。

(11・15kW)

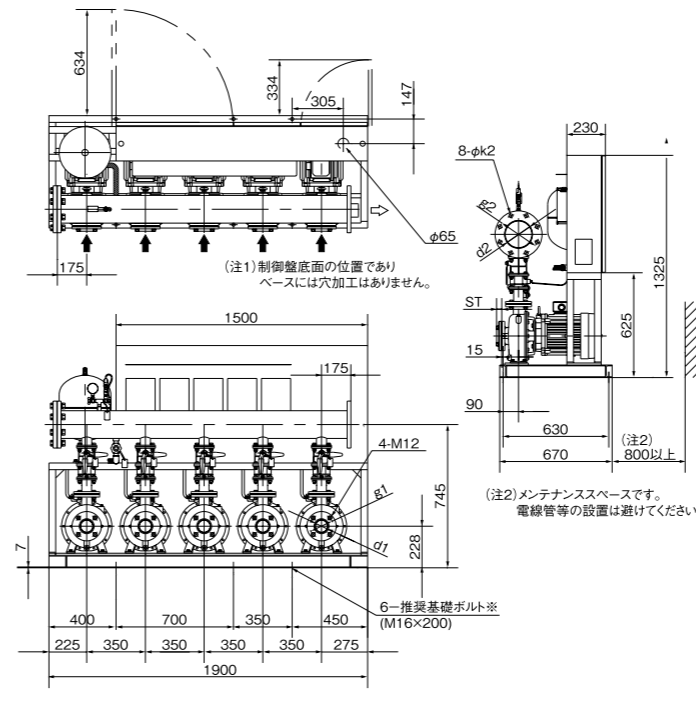


■フランジ寸法 単位：mm

口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ							質量 kg
			d1	g1	d2	g2	n2	k2		
40×80	KF2-40HR3E11	11×2	40	105	80	160	8	23	820	
	KF2-40HR3E15	15×2	40	105	80	160	8	23	850	
50×100	KF2-50HR3E11	11×2	50	120	100	185	8	23	830	
	KF2-50HR3E15	15×2	50	120	100	185	8	23	850	

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。

5台ロータリー (7.5kW)

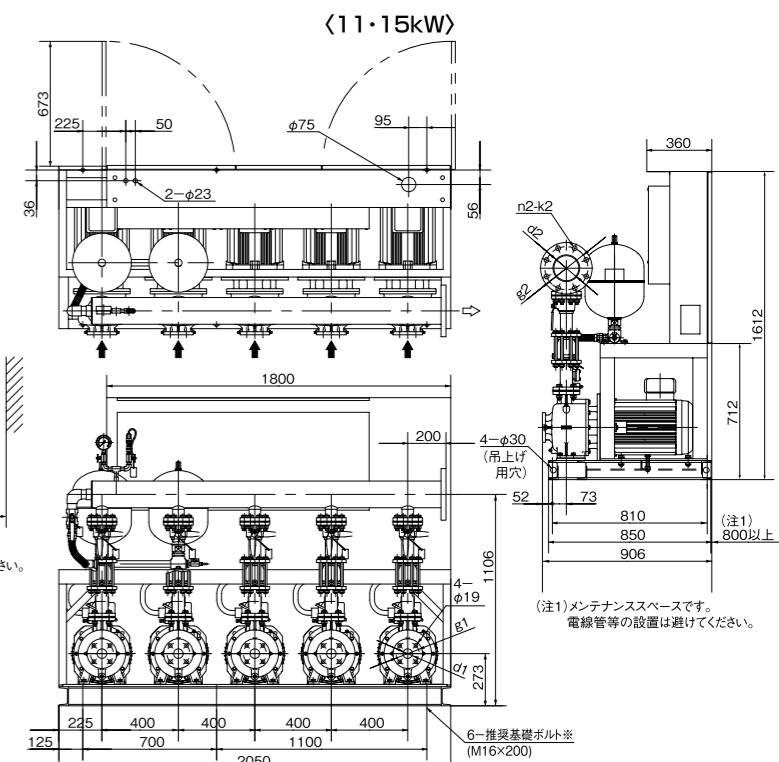


■フランジ寸法 単位：mm

口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ							質量 kg
			d1	g1	d2	g2	k2	ST		
40×100	KF2-40HR5E7.5	7.5×4	Rc1 1/2	105	100	175	19	25	761	

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。

(11・15kW)

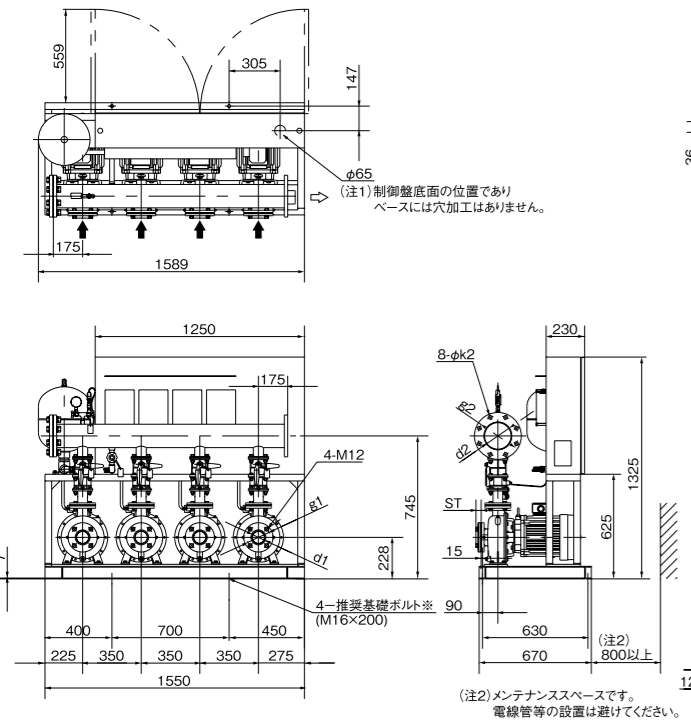


■フランジ寸法 単位：mm

口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ							質量 kg
			d1	g1	d2	g2	n2	k2		
40×100	KF2-40HR5E11	11×4	40	105	100	185	8	23	1300	
	KF2-40HR5E15	15×4	40	105	100	185	8	23	1330	
50×125	KF2-50HR5E11	11×4	50	120	125	225	8	25	1310	
	KF2-50HR5E15	15×4	50	120	125	225	8	25	1340	

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。

4台ロータリー (7.5kW)

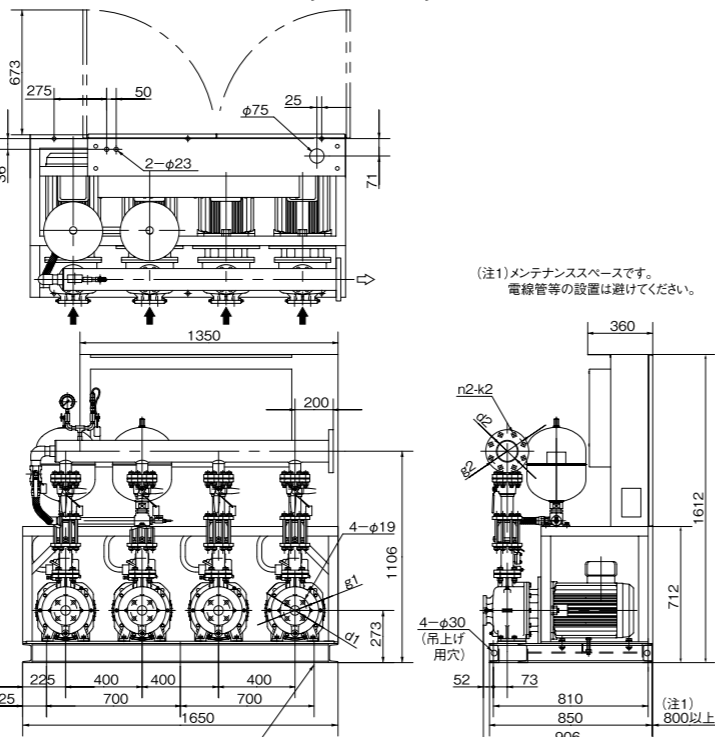


■フランジ寸法 単位：mm

口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ							質量 kg
			d1	g1	d2	g2	k2	ST		
40×80	KF2-40HR4E7.5	7.5×3	Rc1 1/2	105	80	150	19	25	619	

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。

(11・15kW)

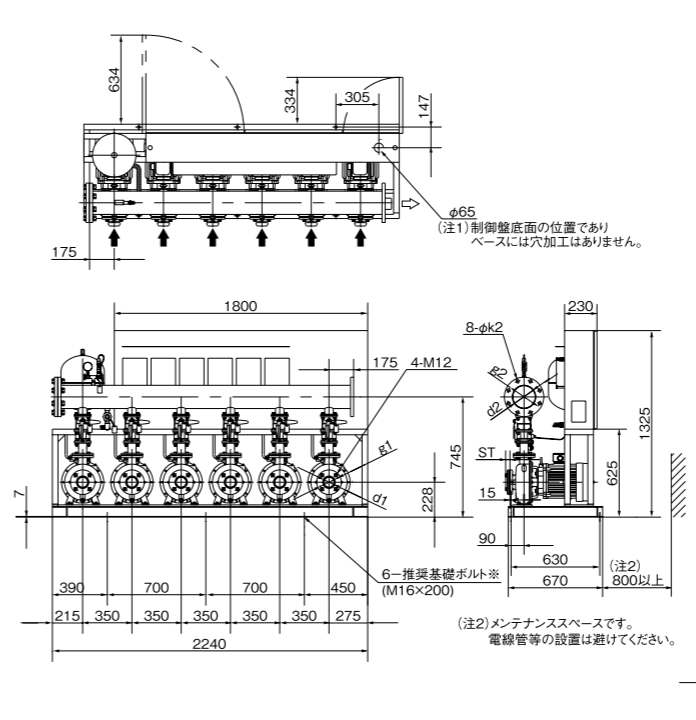


■フランジ寸法 単位：mm

口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ							質量 kg
			d1	g1	d2	g2	n2	k2		
40×80	KF2-40HR4E11	11×3	40	105	80	160	8	23	1050	
	KF2-40HR4E15	15×3	40	105	80	160	8	23	1080	
50×100	KF2-50HR4E11	11×3	50	120	100	185	8	23	1060	
	KF2-50HR4E15	15×3	50	120	100	185	8	23	1090	

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。

6台ロータリー (7.5kW)

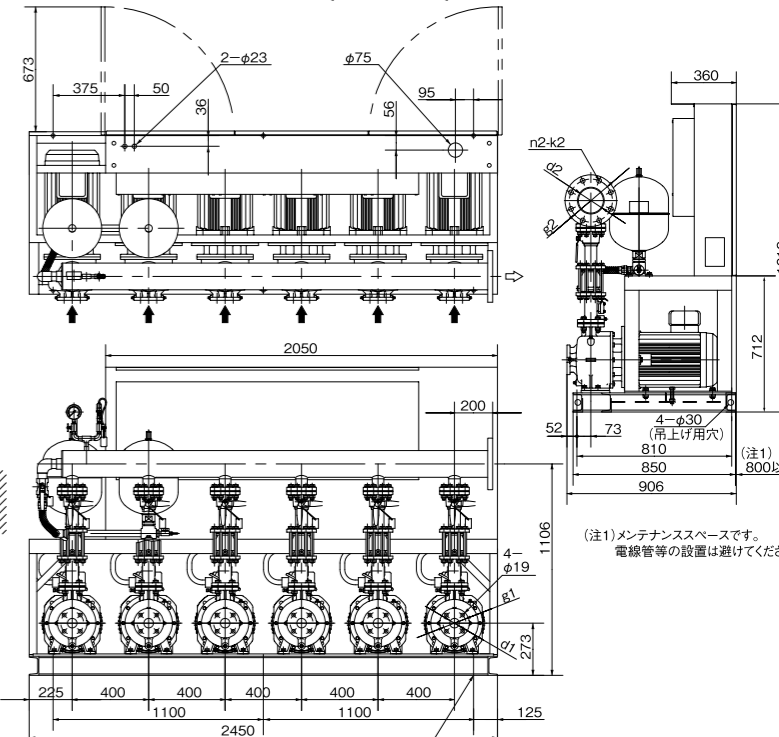


■フランジ寸法 単位：mm

口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ							質量 kg
			d1	g1	d2	g2	k2	ST		
40×100	KF2-40HR6E7.5	7.5×5	Rc1 1/2	105	100	175	19	25	897	

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。

(11・15kW)

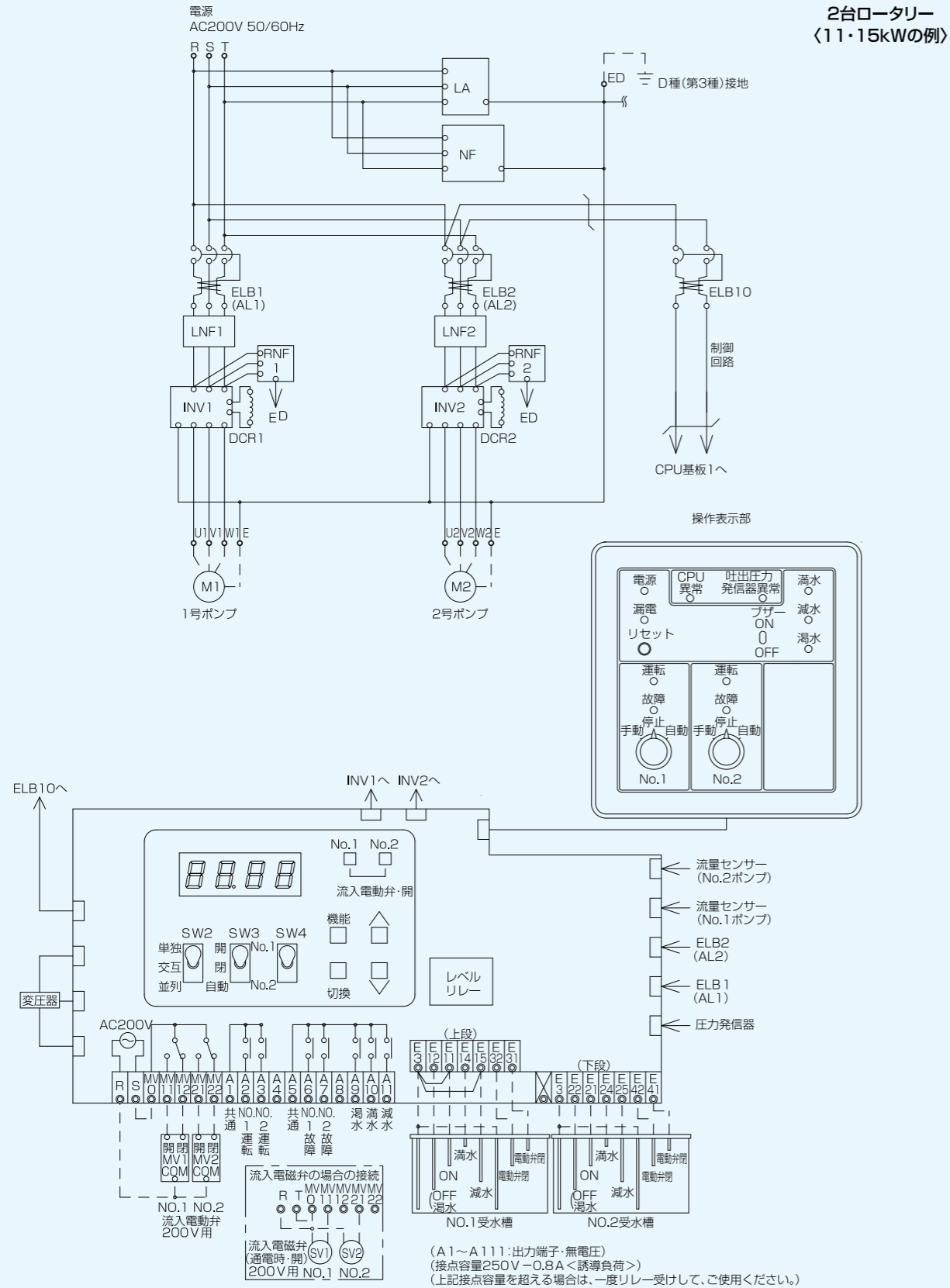


■フランジ寸法 単位：mm

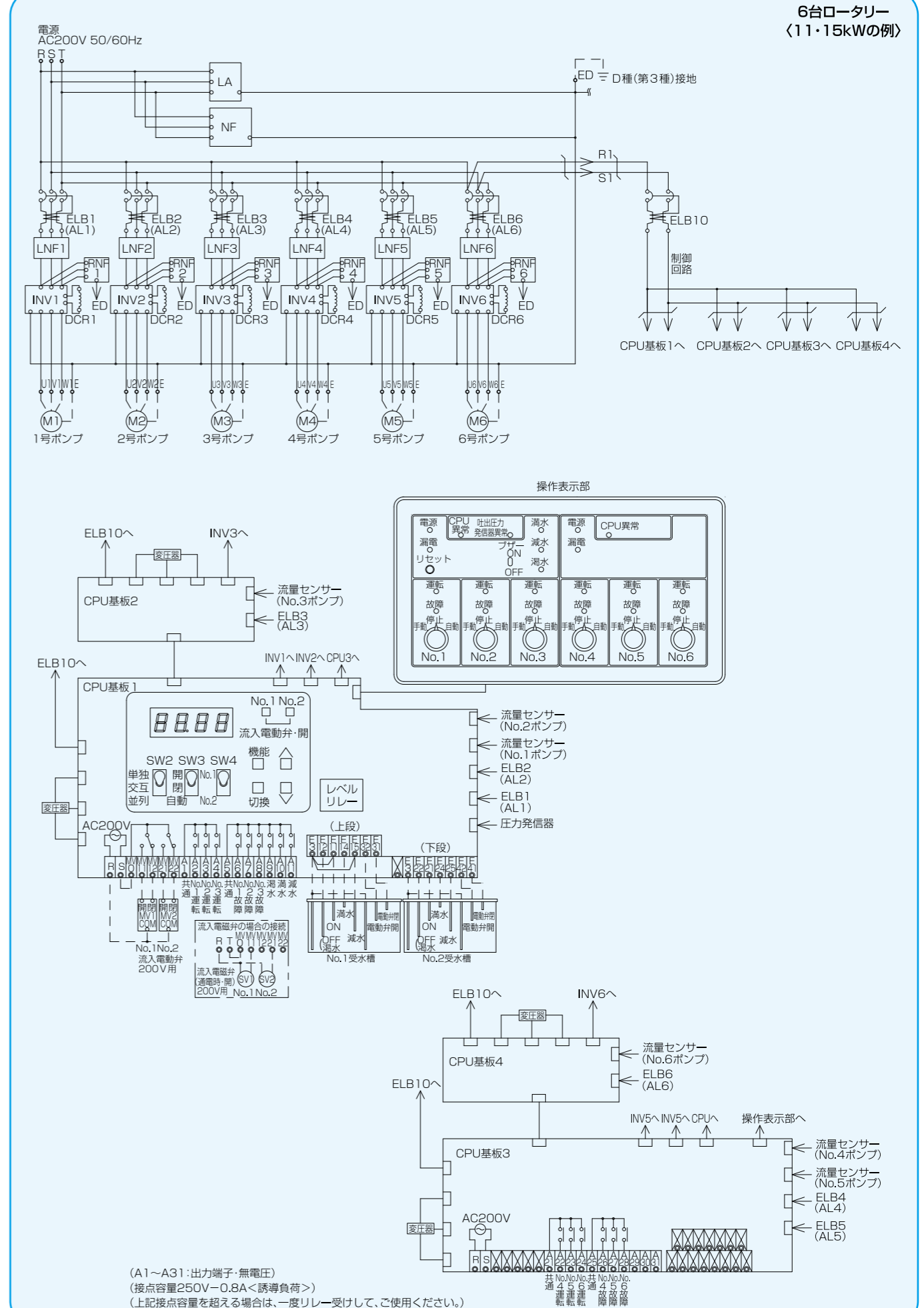
口径 吸込×吐出し	形式	出力 kW	フランジ							質量 kg
			d1	g1	d2	g2	n2	k2		
40×100	KF2-40HR6E11	11×5	40	105	100	185	8	23	1530	
	KF2-40HR6E15	15×5	40	105	100	185	8	23	1560	
50×125	KF2-50HR6E11	11×5	50	120	125	225	8	25	1540	
	KF2-50HR6E15	15×5	50	120	125	225	8	25	1570	

※基礎ボルトは特別付属品です。別途お問い合わせください。

2台ロータリー (11・15kWの例)



6台ロータリー (11・15kWの例)



ECSG3形 制御盤 表示部



4台ロータリーの例

■制御盤表示

表示	状態
HdL	吐出し圧力低下
PEd	吐出し圧力発信異常
PE2	大量水運転警報

■INV表示(個別)

表示	状態
E.OC1~3	過電流
E.THM	モータ過負荷
E.THT	インバータ過負荷
E.FIN	フィン過熱、主回路素子過熱

表示	状態
E.OV1~3	過電圧
E.IPF	瞬時停電保護
E.UVT	不足電圧保護
Err.	インバータ通信異常

シリーズ製品



KFE-合形
交互・交互並列運転



コンパクトな3台ロータリー
KFE-T形 台数制御運転



Max.230m立型高揚程タイプ
KVF2形
Max.6台ロータリー台数制御運転

※詳細については別途カタログをご請求ください。



大きな安心をお届けします。

有料 保守・点検契約のご案内

定期点検
サービス
[年1回又は2回]

技術者がポンプを健康診断

優れた性能を持つポンプも、使用年月や運転状況により少しずつ摩耗し、やがて部品の劣化などにより機能が十分に発揮できなくなります。川本の「定期点検サービス」は、専門技術者が6ヶ月又は12ヶ月ごとに訪問し、ポンプのコンディションをきめ細かにチェック。運転状況や部品の劣化、各機能などを総合的に点検し、良否をご報告します。

的確な点検で信頼性向上

ポンプの消耗状態を早めに知り、重大な故障になる前に修理をおこなうことで、長期にわたり常に最良の運転状態を維持。これにより、保守管理のトータルコストも割安になります。機能の劣化に気づかないまま放置しておくとう漏水や揚水不能、冷暖房不能といった大きなトラブルにつながりかねず二次損害を引き起こすこともあります。

定期点検内容

運転状態での点検を行います。

1年に1回又は2回、事前に予定日をご連絡のうえ実施いたします。

定期点検料金

詳細は、最寄りの弊社事務所までお問い合わせ下さい。



川本ポンプでは、「Comfort Earth」と題し、大切な「水」に関わる企業として全社一丸となって環境負荷低減や環境保全活動への取り組みを進めていきます。



川本製品の中で特に省エネ・環境性に優れた製品を表すマークです。

安全に関するご注意

ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。※上記をお守りいただけないと責任を負いかねます。

- 用途に合った商品をお選びください。不適切な用途で使われますと事故の原因になることがあります。
- 決められた製品仕様以外では使用しないでください。感電や火災、漏水などの原因になります。
- 生物（養魚場・生け簀・水族館など）の設備、または重要設備に使用する場合は、予備機を準備してください。ポンプ故障により、酸欠や水質悪化などが発生し、生物の生命に影響を与える恐れがあります。
- 食品関連の移送に使用する場合、使用材料のご確認など十分にご注意ください。異物が混入する恐れがあります。
- 銅合金をさらう生物などへの使用は避けてください。生物の生命に影響を与える恐れがあります。
- ポンプを水道管に直接配管しないでください。水道法により禁止されています。また、水が逆流して水道水が汚染される恐れがあります。
- 適用される法規定（電気設備技術基準・内線規程・建築基準法、水道法など）に従って施工してください。法規定に反するだけでなく感電・火災・落下・転倒によるけがなどの原因になります。
- 機器の寿命を考慮し、設置は風通しがよく、ほこり、腐食性及び爆発性ガス、塩分、湿気、蒸気、結露などがなく、風雨、直射日光の当たらないところを選んでください。悪環境下では、モーター・制御盤の絶縁低下などにより、漏電・感電・火災の原因になります。
- 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
 - ※排水処理、防水処理されていない場合の被害については責任を負いかねます。
- 設備によっては吐出し側に用途に応じた適切なフィルタなどを設け、十分フラッシングを行

- い、異物がないことを確認後、ご使用ください。製品製造時の切削油、ゴムの離型剤、異物などが配管系に含まれる切削油、異物などが扱い液に混入する恐れがあります。
- 故障などの警報はプザーなどを設け確認できるようにしてください。故障発生時、気が付かずして重大事故につながる恐れがあります。
- フラッシュバルブなどの急激な流量変化を伴う機器を使用の場合は、事前に最寄りの弊社営業所へご相談ください。ポンプ停止中にフラッシュバルブを使用すると管内圧力が急激に低下し、圧力変動やエア混入などの恐れがあります。
- 給湯器の2次側に設置する場合は負圧になる可能性がありますので負圧弁付空気抜弁などを設置してください。ポンプ吸込み側が負圧になり、故障、破損する恐れがあります。
- インバータ搭載機種には、進相コンデンサは取り付けないでください。破損や異常発熱などの原因になります。
- インバータ搭載機種にて発電機を使用の際は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。制御盤（電装箱）や発電機が故障、破損する恐れがあります。
- ポンプの周辺、ケーブル、制御盤、ポンプカバー内に燃えやすいものを置いたりかぶせたりしないでください。過熱して発火することがあります。
- 修理技術者以外の人は、分解・修理・改造やケーブル交換を行わないでください。不備があると、故障・破損・感電・火災の原因になります。
- 長期間安定してお使い頂くために定期点検と日常点検両方の実施をお勧めいたします。点検を怠ると、ポンプの故障、漏水、断水などの原因になります。定期点検についてはご購入先、もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。

改良等のため、仕様・形状など変更することがあります。本書からの無断転用はお断りします。

弊社取扱店

※ご質問、資料の請求は下記へお申込み下さい。

※ポンプに関するお問合せは最寄りの支店・営業所までお願いします。

株式会社 **川本製作所**

本社 名古屋市中区大須4-11-39
https://www.kawamoto.co.jp 〒460-8650 TEL(052)251-7171 (代)

北海道支店 ☎(011)831-0131(代) 京都支店 ☎(075)645-1011(代)
東北支店 ☎(022)232-4095(代) 大阪支店 ☎(06)6328-0877(代)
関東支店 ☎(028)633-9326(代) 四国支店 ☎(087)886-2236(代)
首都圏支店 ☎(03)3946-4131(代) 中国支店 ☎(082)277-3661(代)
名古屋支店 ☎(052)249-9810(代) 九州支店 ☎(092)621-7235(代)

営業所・駐在 全国113ヶ所

川本サービス株式会社

首都圏支店 ☎(03)4526-0691(代) 名古屋営業所 ☎(052)249-9816(代)
首都圏北営業所 ☎(048)677-0065(代) 関西支店 ☎(06)6328-7734(代)
首都圏南営業所 ☎(045)473-6251(代) 京都営業所 ☎(075)555-0530(代)

名称	KF2-H
No.	5322 i